

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年4月

計画の名称	26 氷見市における災害に強い安全・安心なまちづくりを図るアクセス道路整備
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)
計画の目標	交付対象 氷見市

能越道へのアクセス道路の整備により救急医療施設や防災拠点施設への時間短縮及び緊急輸送路の確保を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。
 防災拠点・救急医療施設と能越道インターチェンジを結ぶ、災害に強い道路ネットワークづくりを推進する。

計画の成果目標(定量的指標)	インターチェンジの設置箇所数を現在の3箇所から4箇所にする。 インターチェンジと防災関係施設を結ぶ連絡道路を整備する。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
(インターチェンジ設置整備率) = (インターチェンジ設置数) / (インターチェンジ設置全体計画箇所数(4))	75%	100%	100%	
(アクセス道路整備率) = (計画路線の整備済延長) / (計画路線延長(2.6km))	4%	64%	100%	

全体事業費	合計(A+B+C)	2,622 百万円	A	2,622 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	-----------	--------------	---	--------------	---	----------	---	----------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
氷見市	令和2年9月 公表の方法 氷見市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H25	H26	H27	H28	H29													
氷見処理区																												
26-A1-1	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)氷見南インター1号線他 惣領	IC施設整備 L=0.72km	氷見市						780	-											
26-A1-2	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)鞍川霊峰線 鞍川	バイパス整備 L=0.91km	氷見市						1,094	-											
26-A1-3	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)鞍川9号線 鞍川	拡幅整備 L=0.24km	氷見市						59	-											
26-A1-4	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)鞍川横羽毛1号線 鞍川	拡幅整備 L=0.36km	氷見市						52	-											
26-A1-5	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)中谷内惣領線 惣領	バイパス整備 L=0.35km	氷見市						97	-											
26-A1-6	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)鞍川沖布線 鞍川	拡幅整備 L=0.43km	氷見市						112	-											
26-A1-7	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)下久津呂深原線 下久津呂～深原	拡幅整備 L=1.05km	氷見市						350	-											
26-A1-8	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	改築	(他)大浦石坊線 大浦	拡幅整備 L=0.44km	氷見市						78	-											
合計																2,622												

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況									
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		災害に強い道路ネットワークづくりを推進するため、能越自動車道へのアクセス道路の整備を推進し、新たなインターチェンジの設置を行った。							
II 定量的指標の達成状況	インターチェンジ設置整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因					
		最終実績値	100.0%						
	アクセス道路整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因					
		最終実績値	100.0%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)									
3. 特記事項（今後の方針等）									
道路ネットワークの強化を推進し、安心・安全で快適に通行できる道路整備を行う。									